

要望18件を  
付して

# 令和4年度決算を認定しました。



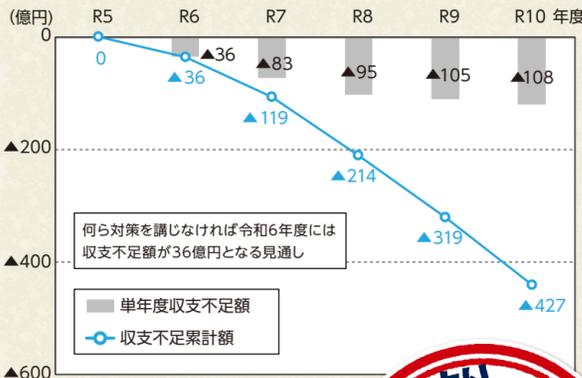
要望事項はこちら▶

要望を  
行いました

主要な  
要望の  
論点

- 業務効率化**について  
ICTの活用とDXの推進、サイバーセキュリティ対策を強化
- 子育て支援**について  
妊産婦への支援充実とプッシュ型広報活動を強化
- 児童虐待対策**について  
対策を強化し、情報共有システムを兵庫県と連携して検討
- 神戸空港国際化**について  
神戸空港の成長に向け取り組みを強化
- 路上喫煙対策**について  
市内全域を路上喫煙禁止地区に指定し、喫煙対策を強化
- 市行政委員報酬**について  
勤務状況に合わせた日額制に改定する
- 公立大学無償化**について  
無償化の影響を分析し、公立大学の施策を検討
- 大阪・関西万博**について  
ゴールデンルート活用で神戸の魅力発信・プロモーション

**認定理由** 令和4年度神戸市決算では、約11億円の実質収支黒字を確保しました。今後は持続可能な神戸経済の成長・市民生活の向上に寄与する行財政改革を強く推し進めることを期待し認定しました。



今後の収支不足額の推移について (令和5年2月公表)



財政の健全性を保ちつつ、市民の安心・安全な暮らしを守り神戸が将来にわたり持続的な発展を遂げ、まちの魅力を高めていこう、日本維新の会神戸市議員団はさらなる行財政改革を訴えてまいります。

## 一般質問 (令和5年10月24日)

### 住本 かずのり議員



### 再犯防止施策-保護司のなり手不足について

**住本** 犯罪や非行を行った方に対し、社会復帰するための支援を行う保護司は、再犯を防止し、安全・安心なまちづくりを行うにあたり、非常に重要な役割を果たしていると考えます。本市では「再犯防止コーディネーター」を配置し、再発防止のための取り組みを行っており、今後、保護司との連携も重要になってくると考えます。しかし、保護司の担い手不足が深刻であることから、国の方からも行政職員に対して保護司への協力依頼が出ています。市としてのなり手不足解消の取り組みを伺います。

**久元市長**▶ 保護司の皆さまとともに意見交換する機会がよくあり、特に求められたのが活動拠点を留意して欲しいという事で、活動支援補助制度をしていますが、十分でなければ更なる対策も考えたい。また、定年を迎えた職員向けにも保護司活動に関する案内も出しています。今後もより充実した案内・勧誘ができないか積極的に取り組んでまいります。

### さとう まちこ議員



### 不登校特例校について

**さとう** 不登校の児童・生徒は全国的に増加傾向であり、本市においても、令和3年度は2,974名、令和4年度は4,104名と、大きく増加し続けているにもかかわらず、再来年設置される(中学校)不登校特例校は1校のみ、受け入れられる生徒が40~50人では受皿が全く足りない。今後の取り組みや、さらなる環境整備について伺います。

**長田教育長**▶ 1校のみの設置で十分とは考えていませんが、1校目の運営状況や効果をよく把握した上で、設置拡大に向けて取り組んでいきたい。

**さとう** 他都市で実施されている(小学校での)イェナプラン教育も有効。一斉授業だけではなく児童・生徒が自分のスピードで学び、自主性を育むことができるだけでなく、教職を離れた教員の方々含め、多様な教員の受入れにもつながると考えます。全区に展開を。多種多様な教育を実行できる不登校特例校を全国的に後発となる神戸市はせめて5つ(5校分)ぐらいのアイデアを同時進行させるぐらいの努力と覚悟を持って早急に進めるべきです。

**その他** リカレント教育の観点からオンラインで大学講義を無料公開に、天候に左右されないサンポチカを幼児が歩いて楽しい道に、神戸市も県と連携し舞子エリアの活性化、火花の実現などを提案しました。

令和5年分/

**身を切る改革**を  
実行しました!!

# 20,096,372円

石川県(令和5年7月大雨災害義援金)、  
福島県(令和5年台風第13号災害義援金)に寄付しました!!



寄付の状況はこちら

徹底した行政改革を目指し、まずは、政治家自らが

# 身を切る!

身を切る改革は、日本維新の会神戸市議員団が市民に約束した**最重要事項**です。公約である**議員報酬2割削減の実現**に向けて、引き続き率先垂範してまいります。



## 令和5年10月議会において/

# 議員報酬削減条例を提出



日本維新の会神戸市議員団は、議員提出第5号議案「神戸市市会議員の議員報酬、費用弁償および期末手当に関する条例の一部を改正する条例」を提出いたしました。自民党・公明党・こうべ未来(旧民主系)等その他無所属議員により**反対多数で否決**されてしまいました。今後も議員報酬削減を訴えてまいります。



提案説明はこちら▶



## 地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書



自民党・公明党・こうべ未来等その他無所属議員により「地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を求める意見書」が提案されました。**日本維新の会は反対をしましたが、賛成多数で可決されました。**

法整備されると税負担が神戸市で年間約**7000万円!**

日本全体で約**200億円!**まずは**年金制度改革**を!



反対討論はこちら

	維新	自民	公明	共産	こうべ未来
報酬削減	○	×	×	○	×
厚生年金	×	○	○	×	○

所属議員5名以上の交渉会派のみ記載

## 代表質疑 (令和5年9月21日)

### 大井 としひろ議員



### 令和4年度決算と決算カードを通じた現状分析、今後の成長戦略について

**大井** 日本は人口減少社会に入り、今後の人口増は見込めない状況であります。各都市の税収構造に様々な特色がある中で、今後、神戸市が税源の涵養を図るため、どのような成長戦略を考えておられるのか、市長のご見解を伺います。

**久元市長**▶ 神戸市の税収は、川崎市、福岡市、京都市と比較して個人市民税の伸び率が低く、法人市民税の伸び率はやや低い。個人市民税の納税義務者1人当たりの所得は西日本でもトップクラスだが、人口に占める納税義務者の割合が低いです。また、課税対象の企業が少ないです。税収を上げるためには、シニア世代と女性の就労割合を高めることが大事です。女性が働きやすい環境をつくり、企業誘致や新たな産業団地の整備、スタートアップに女性やシニア世代も参加することが重要です。

**その他** 遅々として進まない本市のガラスびんの再資源化について、児童虐待事案に関する対策について、空港の国際化と大阪・関西万博について質問をしました

### 川口 まさる議員



### 金利による財政への影響について

**川口** 令和4年度決算において、一般会計の歳入総額は9,417億円となり、11億円の黒字を確保したことが説明されています。税収は3,141億円となっています。他方で、世界的にインフレへの対応が課題となる中、金利上昇による今後の財政負担や大型投資への影響、見直しについて、所見はどうでしょうか。

**今西副市長**▶ 日本銀行は量的・質的金融緩和を継続してきたが、昨年12月と本年7月に金融政策を修正し、10年国債の金利である長期金利の上限の引上げを行いました。今後も景気動向や物価水準等に応じ、我が国の金融政策が修正される可能性は高く、不透明な金利情勢は続くものと認識をしています。一方、神戸市は阪神・淡路大震災以降、一般会計で1兆円の市債を発行し、その後、投資的経費の大幅な抑制により、市債残高の削減に努めた結果、臨時財政対策債を除く市債残高は過去最大の平成9年度に比べ1/3程度の水準まで減少してきています。また、高い金利の市債償還が済み、本市の利子負担は低下傾向にあります。今後の金利水準や投資の規模によっては、新規発行に係る金利負担が増える可能性はありますが、市場動向を注視し、適切なポートフォリオを組みながら、引き続き安定かつ低利な資金調達に努めてまいりたいと考えています。

## 総括質疑 (令和5年10月10日)

### 三木 しんじろう議員



### 教育委員会の機能強化・給食費無償化について

**三木** 「神戸市総合教育会議」は、市長と教育委員会が連携を図り、教育課題を解決し教育行政を改善するために設置されていますが、令和4年度は1回しか開催されませんでした。教育現場の課題解決には、市長と教育委員会の協力と議論など改善に向けて取り組む必要があり、「総合教育会議」をより積極的に開催すべきと考えますが見解を伺います。

**長田教育長**▶ 教育委員会にとって貴重な意見交換の場であり、その時々状況に応じて、重要なテーマについて市長部局と意見交換、調整をしながら、「総合教育会議」における議論が一層活性化するように努めていきます。

**三木** 給食費の無償化については、保護者の経済的負担軽減の観点や大都市を含め無償化を実施している自治体もあるなか、まさに地方から国を動かさなければならぬと考えています。令和6年度の公会計化のタイミングでの無償化、あるいは中学校給食の全員喫食後に中学校、さらには小学校の無償化と段階的に進められないでしょうか?

**長田教育長**▶ 給食費の無償化については、子育て支援施策全体の観点から、全的に判断されるべきものであり、多額の財政負担が生じることから実施には課題が大きいものと考えています。国において検討が始まったところであり、引き続き国の動向を注視していきたい。

**三木** 現在、中学校給食は半額助成を神戸市独自で行っており、さらに踏み込んで進めていただきたい。

経済観光局

## 山本 のりかず

北区

### 農村ツーリズムについて

**山本** 農村ツーリズムは、農村地域の活性化において重要な取り組みです。神戸では、都心と農村地域が近接し、農村ツーリズムの展開に優位性があり、今後どのような取り組みを考えているのか確認します。



**港湾局**▶神戸市内の農村地域において、古民家カフェなどは規制緩和を活用した起業者の育成によって新たなコンテンツの造成がなされ、農泊、民泊の取り組みもされているところがございます。例えば農泊施設などを組み込んだ体験ツアーや周遊コースなどの商品の造成なども想定してございます。観光部門と連携しながら、引き続き発信の強化・魅力の強化を含めて、実施してまいりたいと考えてございます。

建設局

## 高橋 としえ

西区

### 浸水対策について

**高橋** 神戸市は準用・普通河川を管理しています。災害対策、有害鳥獣被害対策を目的として経済観光局と連携の上、河川の加深頻度を上げるなどの取り組みが必要ではないでしょうか？



**建設局**▶有害鳥獣対策として効果がある箇所把握に努めて、河川管理の一環として必要な浚渫や草刈りの対応を講じてまいりたい。

**高橋** 近年、線状降水帯やゲリラ豪雨の発生が増加しており、内水氾濫の対策の重要性が高まっています。地区別浸水対策の進捗はいかがですか？

**建設局**▶浸水リスクが高い順に地区1.地区2.地区3と3つに分類して地区1から順に段階的な浸水解消をやっていくと目標を定めています。現在整備を行っている西区西河原地区、東灘区の国道43号周辺の地盤が低い地域については、継続して事業に取り組みます。

文化スポーツ局

## さとう まちこ

垂水区

### 神戸まつりについて

**さとう** 神戸まつりにおいて、2025年の大阪万博に向け、2024年を皮切りに、神戸まつりのパレードにコスプレヤーを呼ぶなど、アニメ・コスプレという新しいジャンルを取り入れ、若者や海外の方を呼び寄せるきっかけとしてはどうでしょうか。滞在型の神戸まつりということで、初日は神戸まつりを楽しんでいただき、内閣府も推進しているアニメツーリズムができる企画を用意し、神戸市民も神戸の新しい魅力に気付ける発信をしていただければいかがでしょうか。



**文化スポーツ局**▶市民の方々が知る機会にもなるというのは同感。そのような広報面での連携をしていくのは、ありだと考えています。

**要望** 公民館の活用、オンラインマラソンの継続を提案しました。

福祉局

## 住本 かずのり

須磨区

### KOBEシニア元気ポイントの更なる取り組み

**住本** 高齢者の外出機会の増加や社会参加の促進という点で「KOBEシニア元気ポイント」はフレイル予防に繋がる重要な取り組みです。現在の登録者数は2,046人であり、まだまだ少ない。登録者数や活動者数を増やすため、事業認知、活動場所や種類などの選択肢を増やすことが重要だと考えますが、今後の取り組み方針を伺います。



**福祉局**▶現在は庁内の連携-建設局、環境局、文化スポーツ局、区役所等-と、民間とも連携しながら活動の場所、選択肢を増やして事業の魅力アップの取り組みを進めています。今後も登録者数を増やす努力をしていきたい。

## 令和4年度決算特別委員会

# 局別審査

### 所属議員が各担当部局に分かれて 令和4年度決算について質疑しました。

市政へのご意見・ご相談は  
各区所属議員に  
お問い合わせください。



お問い合わせはこちら



港湾局

## 黒田 武志

西区

### 神戸空港の国際化に向けて

**黒田** 2025年に国際化を迎える神戸空港については、空港機能の強化だけではなく、神戸ブランドの発信やにぎわい機能など、神戸の空の玄関口としてふさわしい魅力ある空港づくりが求められる。新ターミナルと共に、現行ターミナルについても、神戸空港の積極的な活用や神戸経済・神戸市民への還元について、関西エアポート神戸に対し、強く働きかけを行っていただきたい。



**港湾局**▶神戸空港のモニタリングを実施し、改善に向けた取り組みを現在、検討している。空港に行けばわくわく感や、特別感を感じていただけるよう空港の機能強化と合わせ、ブランドの発信や、にぎわい機能など魅力ある空港となるように関西エアポート神戸と連携しながら取り組みを進めてまいりたい。

地域協働局

## ながさわ 淳一

長田区

### 地域の担い手について要望

**ながさわ** 地域のつながりというのは、いざというときの地域の安全・安心にもつながりますし、安全・安心な地域というのは、まちの魅力アップにもつながります。近年、地域のつながりの希薄化が顕在化しつつある中で、改めて行政と地域と一緒に、地域のつながりを育むことができる仕組みづくりを、これまで以上に力強く進めていただきたい。お祭りは地域の絆や連帯感を高めることができ、準備や運営に関わることで、地域の人々はコミュニケーションを取り、信頼関係を築くことができます。地域のつながりが希薄になる中で、非常に有効だと考えますので、今後も支援のほどよろしくお願いたします。



危機管理室

## のまち 圭一

中央区

### サイバーセキュリティについて

**のまち** 今年度はセキュリティー専門事業者により各システムネットワークの脆弱性の診断や共有のリスクガイドラインの作成などに取り組み、必要な対策を講じていくとのことだが、現在の対策の進捗状況について伺います。



**危機管理室**▶病院、水道、交通などの重要なインフラに対するサイバー攻撃対策が進行中、神大大学院教授にアドバイザー協力を受け、市民生活に高い影響を及ぼす10の重要システムを選定し、専門の業者に脆弱性評価を行っています。これに基づいて、重要インフラのリスク評価基準、BCP策定手順書、職員向け訓練計画などの作成が計画されており、各所管局室や外郭団体ではリスク評価を受け、システムの点検と必要な対策を講じる予定です。また必要に応じてBCPの改定も行う予定です。

交通局

## 外海 開三

東灘区

### 市バスの運行について

**外海** 市バス事業はコロナによる利用者数の減少や、今後も少子化により減少傾向にあることや、燃料費等の所要経費高騰の影響を大きく受けるなど、極めて深刻な状況であり減便や廃止も決定している。交通局の厳しい経営状況、とりわけ市バス会計は危機的状況にあり、利用者数に応じたダイヤ編成を行い更なる効率化を図るべきです。



**交通局**▶ご指摘のとおりであり、我々は今2タッチデータを日々積み重ねています。日々の利用状況を見ながら、お客様の声、あるいは地域からの要望というものを勘案し、必要であればダイヤを変更することも含めて、もっと効率的に、より便利に利用いただけるような運営に取り組んでまいりたい。

教育委員会

## 岩谷 しげなり

兵庫区

### 神戸の教育ビジョンについて

**岩谷** 子育て世代に、神戸市がどのような方針の下、教育施策に取り組んでいるのかあまり伝わっていません。さいたま市の英語教育は、全国の中で群を抜いて成果が表れています。また芦屋市は、東大大学院と連携して教育改革を行っていくと発表し大きく注目されています。「神戸の教育はこれだ!」と言えるような、他の自治体に負けない誇れる魅力をブランディングしていく必要があると考えますが、見解を伺います。



**教育委員会**▶神戸市教育振興計画は、市民の皆様にとって、若干目指す方向が分かりにくいということになっている面もあるのではないかと考えています。他都市の事例も参考にしながら、神戸の教育が目指す方向性を分かりやすくお示しをし、市内外に発信できるようにしていきたい。

都市局

## 川口 まさる

灘区

### 三宮の再整備について

**川口** 三宮の6つの駅は、改札が地下、地上、デッキの3層にそれぞれ分かれており、複雑な構造となっているせいか、駅と駅との距離が遠いように感じます。広場から地下鉄への通路が新設されることにより、さんちか内の動線は一定改善されると思いますが、再整備を機に6つの駅それぞれの間についてもよりスムーズに移動できるように考えてほしいと思います。



**都市局**▶JR新駅ビルと一体となるよう周辺の歩行者動線のネットワークを確保します。また、適切な場所にエレベーター・エスカレーターを整備しバリアフリー化も実現します。デッキもこれから工事を進めたいと思っています。官民連携で指摘の乗換え動線の改善、よりスムーズに三宮駅周辺を回遊していただけるような動線の強化に、取り組みたいと思っています。

子ども家庭局

## 三木 しんじろう

中央区

### 子ども達目線の学童保育について

**三木** 神戸市では多くの児童館で学童保育が行われています。学童保育を学校内で行い、運動場や体育館も利用し、体を動かし伸び伸びと実施していただきたいが今後の展開は？



**子ども家庭局**▶ご指摘のとおり、学校内で実施することは移動がなく安全であり、運動場、体育館等、学校施設が利用できるメリットがある、学校施設の利用を進めていきたいと考えています。

**三木** 保護者のニーズ・地域のニーズに合わせ、分かりやすく保護者へ周知を行い、教育委員会と更なる連携をしていただきたいが見解を伺います。

**子ども家庭局**▶それぞれの事業や利用している子ども達の声などを届けるよう周知に努め、教育委員会としっかりと連携し、放課後が子ども達にとって豊かな時間になるように、しっかりと取り組んでいきたい。

健康局

## なんの ゆうこ

東灘区

### 女性のがん検診の受診率向上について

**なんの** 現在、労働人口の約4割を女性が占めており、企業における健康支援や健康管理の視点から、女性特ながん検診の実施は重要ではないか。神戸市はどのような取り組みを行っているのでしょうか？



**健康局**▶職域でのがん検診の取り組みについて対策が必要です。がん検診の普及啓発に積極的に取り組む企業や団体と、受診促進協定を締結しており、従業員に対するがん検診の受診勧奨や、リーフレットの配付等、受診を促す取り組みを積極的に行うよう働きかけています。

女性がセルフケアを行いつつ仕事に向き合える体制が必要です。神戸市としても職域における女性の健康支援について、企業と連携を図り取り組んでまいりたい。